

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 2 月 22 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

転換線と株価との関係(2月19日付のチャート参照)をご理解いただきましたら、つぎは基準線についてご説明します。**基準線**という言葉通り、これが最も基準になる線です。

基準線とは立ちあい日数過去 26 日間の高値と安値のちょうど中間値段のことです。たとえば、立ちあい日数過去 26 日間の高値が 1000 円で安値が 800 円とすると、その中間値段は 900 円。これがこの時点の基準線ということになります。

いくつかのポイントがありますが、一度に色々なことを言ってわからなくなっても構いませんので、今日はこのことだけご理解下さい。

右肩上がりの上昇トレンドを描いている銘柄は調整したとしても基準線が下値の壁になることが多い。別の言葉で言うなら、**右肩上がりの上昇トレンドを描いているうちは調整したとしても立ちあい日数過去 26 日間の高値と安値の中間値的程度までしか下げないことが多い.....。**

このことをよくご理解いただいたうえで**(6770)アルプス**のチャートをご覧ください。基準線が下値の壁になっていることがよくわかりいただけると思います.....。

そこで今日のポイントは、**右肩上がりの上昇トレンドを描いている銘柄は基準線で押しめを待つとおぼえて下さい。**

(無料テレフォンサービス) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552



Alpha Chart 社製